

第 112 回定例会講演記録

日時：平成 26 年 10 月 11 日（土）10 時 20 分～11 時 50 分

会場：栄公会堂 2 階 1 号会議室

演題：「ドイツと日本について感じたこと」

講師：志賀 ギゼリンデ (Mrs Giseline Shiga)

(ミュンヘン大学卒業。1966 年に来日。現在鎌倉在住。外国籍の県民かながわ会議委員、湘南日独協会混声合唱団 Ansel の会員、日本人の外国人妻の会 (AFWJ) の会員)

(講演の要旨)

“皆サマ、オ早ウゴザイマス！私ハドイツ国籍デスガ主人ハ生粋ノ日本人デス。(笑い)“ドナタカオ早ウヲドイツ語デ何トイウカゴ存知デスカ？会員の一人が挙手して“ゲーテン モルゲン” と回答。正解デス良ク ゴ存知デシタネ！ダンケ シェーンデハアリマセンネ。”(笑い)

さて、もう少し詳しい自己紹介ですが、現在は大船ルーテル教会の会員で、他に栄スポーツセンターの卓球、バトミントン、アクティブエクササイズなどに参加しています。

“1966 年 10 月 17 日に初来日し、大阪府高槻市でスタート、横須賀市追浜、埼玉県鳩ヶ谷市と転居、転勤のため香港にも 1 年半在留し 78 年以降は自宅で鎌倉市大船住まいでございます子供は息子が 2 人、孫が長男に 3 人、次男に 1 人居ります。”

●数字とデータ

私の祖国ドイツの正式名称は“ドイツ連邦共和国”で 49 年より議会制民主主義の連邦国家です。議会は第 16 期、総議席数は 614 です。エルリンの高い壁がはずれて 4 半世紀になります。

首都はベルリンで、その人口は 340 万人。こちらの横浜市の人口 370 万人より少ないです。



国旗は左図のようで黒、赤、金の横三色旗で国の紋章は様式化された鷲です。国歌は歌詞をアウグスト・ハインリヒ・ホフマン・フォン・ファラースレーベンによる「ドイツ人の歌」第 3 節、曲はヨーゼフ・ハイドンの「皇帝」からのものです。通貨はユーロ圏に属しておりユーロですが、因みに 1 ユーロは 100 セントであります。

●地理データ

地域は中部ヨーロッパの中央に位置しておりまして、面積は 35 万 7,021k m²。地図で見ますと日本とサイズは似ていますが形が違います。隣接国はフランス、スイス、オーストリア、チェコ、ポーランド、デンマーク、オランダ、ベルギー、ルクセンブルグの 9 カ国です。最高峰はツークシュツェ（標高 2,963m）で富士山より相当低いです。最長の河は皆さまよくご存じのライン川（865km）で、エルベ川（700km）、ドナウ川（686km）と続きます。

大都市は先述のベルリンに続いてハンブルグ、ミュンヘン（120 万人）、ケルン、フランクフルトと続きます。

気候は北海道と似て穏やかな海洋性気候と大陸性気候の中間にあり、天候の変化に富む偏西風帯に属します。大地震、津波、火山、台風等による災害はありませんが、嵐や大雨はあります。

●国民

ドイツの総人口は 8,250 万人（内 4,220 万人が女性）で EU で最も人口の多い国ですが、約 730 万人の外国人がドイツに居住、そのうち 180 万人がトルコ人です。

また人口密度は 1k m²あたり 231 人とヨーロッパでも人口密度の高い国であります。

平均寿命は男性 76 歳、女性 81 歳と日本より少し低いのですが O E C P 諸国の平均寿命を上回っています。

宗教は 5,300 万人弱がキリスト教信者(カソリック 2,600 万人、プロテスタント 2,600 万人)、イスラム教 330 万人、仏教徒 23 万人、ユダヤ教徒 10 万人、ヒンズー教徒 9 万人で、基本法は思想、良心、と信仰の自由を保障しています。

●政治制度

立法一院制。連邦議会と並び、16 連邦州の政府の代表によって構成される連邦参議院が各州の利益を守るために参加しています。各州はそれぞれの憲法、議会、政府を有していますが最高の国家権力は連邦(国)あって、連邦参議院を通じて連邦各州は連邦レベルにその代表を送り、連邦の立法過程に参加しています。

次に常日頃、私が感じていることを率直にのべさせていただきます。まず、ドイツと日本が似ている点は四季の豊かさ、緑、山が多く、他面人々がたいへん勤勉で真面目だと考えられます。

両国は文化、教育度が高く、高度発展産業国で割合安全な国だと思います。しかし、反面、環境問題、原子力発電所の心配があり、将来日本はどうなるのか心配です。(笑い)

また、社会問題としてドイツもそうですが、お年寄りが多くて若い人が少ない点が問題であると思います。

お話は変わりますが、ドイツからの観光客がたいへん好んで良く訪ねる場所は伝統的な建物がある神社・仏閣で、特に人気のある地域は鎌倉、奈良、京都、日光、金沢等です。古来からの袴、浴衣、和服にも興味を示します。また、日本は世界一便利な国ではないだろうかと考えます。私もそうですが毎日恩恵を蒙る事は、24 時間営業の親切なコンビニエンス・ストア(笑い) コーヒー等の種類も多い自動販売機、JR、私鉄等のスイカ、発着時間の正確さ、駅の衛生的な洗面所および郵便局のサービス、局員の親切な対応は他に類を見ないものです。

ドイツに関して自慢できることは社会福祉の充実していることです。私の身近で女性が日本人でご主人がドイツ人、反対にご主人が日本人、ご夫人がドイツ人のケースが多々あります。ドイツ人の女性はケチではないのですが(笑い) 儉約家が多く、買い物はなるべく節約、古いものを大切にしておいた物は必ずリサイクルして修理・再生します。またお化粧が上手です。生活習慣で日本と異なる一例として、ドイツはたいへんレディファーストが徹底しており日曜・休日に女性が洗濯をすることはまずありません。(笑い) それで家族揃って外食をすることが多いです。また、ドイツでは人々が自由に過ごせる時間が日本より多く、ドイツではお金がなくても十分に楽しめます。休日には公園が卓球などで賑わいます。一方、大学への入学試験がなく、先生たちは休みやすくよく休みますので(笑い) 生徒たちは休講を喜びます。残念なことは方々で落書きが多い事です。時間が来ましたので終わらせて頂きますがドイツと日本が平和条約を締結いたしまして、将来・今後とも友好的で仲良く両国がますますの発展を祈念しまして終了させていただきます。

ご静聴まことにありがとうございました。(大拍手)

(写真：横尾 正孝 文責：坊城 弘幸)